



(滞在型リサーチ&制作プログラム) 飯豊町・木の作り手プロジェクト

いま、ある森の中で

リサーチ&作り手
(木炭画家) **伊藤 大悟**

滞在期間 2025/1/11(土) - 13(月)
2/20(木) - 28(金)

●ワークショップ **事前申込制**

2/22(土)

①10:00-12:00 ②13:00-15:00

会場 中津川地区公民館

●展示・発表 **入退場自由**

2/28(金)

展示 12:00-17:00

発表 12:00-12:30 頃

会場 道の駅いいで

めざみの里観光物産館

2F テーマ館

主催: 飯豊町 中津川の森人会

飯豊連峰の山麓にある飯豊町は、冬になると落葉した広葉樹の木々が真っ白な雪に覆われます。

今回当地で滞在制作を行うのは、木炭画家の伊藤大悟さんです。枝を炭化して得る木炭は重要な画材ですが、ややもすれば作品を完成させる素材としては次善のものとして扱われてきました。こうした位置付けに疑問を持ちつつ、作家は木炭そのものが持つ魅力に着目。さらに作品の題材としては、人間の行為と自然の営み相互の影響について強い関心を持ち、両者の関係について各地域で登山や散策を行いながら考えるという、その土地に入り込む手法で制作を行っています。

今回作家は、特別豪雪地帯である中津川地区に身を置き、かつて当地の冬仕事の一つでもあった広葉樹の炭焼きについてのリサーチをベースに制作を行います。思えば木炭もまた、人間が自然の恵みを利用して生まれてきたもの。山間地の人々の冬の生活と木炭生産に、作家は何を見出し、描くのでしょうか。

なお滞在期間中には、中津川雪まつり開催に併せ、描画用の木炭を自作して描くワークショップや、展示・発表を行います。参加者や本プロジェクトに関わっていただく方々にも、芸術に触れ、木炭や身の回りの森林について考える機会となれば幸いです。

●制作ワークショップ「いま、ある森の中で」

事前申込制

伊藤大悟さんと、①午前中は木炭を制作し、②午後はその木炭をもとに絵を描きます。①②のみ、または両方を通しての参加も可能です。

日 時	2月22日(土) ①10:00-12:00 ②13:00-15:00
定員/対象	各回15名/どなたでも
ナビゲータ	伊藤大悟(木炭画家)
会 場	中津川地区公民館(飯豊町大字上原469)
参加方法	下記QRコードより参加者全員のお名前・年齢/日中連絡のとれる電話連絡先/メールアドレスを入力してください。入力が難しい場合は、上記の必要事項を記載し、件名を「2/22 ワorkshop参加申込」として、下記メールアドレスへお申込みください。
参加費	¥500(材料費・保険料込)

●展示・発表

入退場自由

今回の滞在制作の成果を展示・発表します。

展 示	2月28日(金) 12:00-17:00
発 表	2月28日(金) 12:00-12:30頃 *発表はInstagramでもオンライン配信予定です。
会 場	道の駅いでめざみの里観光物産館2F テーマ館(飯豊町大字松原1898)

伊藤大悟(いとう・だいご)



《命の生まれるところ》2024年 木炭、パネル

1998年、埼玉県生まれ。2024年、武蔵野美術大学大学院造形研究科修士課程修了。人間の社会活動と自然の営みの相互作用をテーマに、登山や里山の散策等、フィールドワークを重要視した制作スタイルによって、多様な木炭画を制作。近年は海外でのトレッキングを経験するなど、あらゆるフィールドへ足を運び作品の幅を広げようと試みています。主な展示に「TO CHOLATSE」(STAGE-1 2023年)、「雲ノ平山荘アーティスト・イン・レジデンス」(雲ノ平山荘 2023年)「白日展 創立百周年記念展」(国立新美術館 2024年)など。



作家 Instagram ▶

【WS お申込・お問合わせ先】

飯豊町 中津川の森人会

E-mail kawauda2014@gmail.com



本PJ
Instagram



WS お申込
お問合わせ



やまがた社会貢献基金

Yamagata Social Contributor Fund

本プログラムは、株式会社東北シーアイシー研究所の寄付により、やまがた社会貢献基金協働助成事業による補助を受け実施します。